



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 島津製作所

コード番号 7701 URL <http://www.shimadzu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 中本 晃

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員

(氏名) 三浦 泰夫

TEL 075-823-1128

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	216,073	1.8	14,770	14.9	16,003	12.1	10,492	—
26年3月期第3四半期	212,291	15.0	12,856	162.1	14,272	166.5	△5,200	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 20,613百万円 (400.1%) 26年3月期第3四半期 4,122百万円 (17.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	35.58	—
26年3月期第3四半期	△17.63	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	334,624	199,668	59.6
26年3月期	340,715	181,994	53.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 199,436百万円 26年3月期 181,814百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	8.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期(予想)の期末配当金には創業140周年記念配当3円00銭を含んでいます。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	312,000	1.5	26,000	8.2	25,000	0.8	15,500	59.4	52.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	296,070,227 株	26年3月期	296,070,227 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,182,746 株	26年3月期	1,156,882 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	294,901,960 株	26年3月期3Q	294,945,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.平成26年5月13日に公表しました通期の連結業績予想から変更はありません。
- 2.上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関連する事項については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間の日本経済は、個人消費などに弱さがみられるものの、経済対策・金融政策の効果などを背景に企業収益・雇用情勢の改善が見られ、緩やかな回復基調が続きました。海外においては、中国では依然として経済成長のペースが緩やかな状態が続きました。欧州では景気は足踏み状態が続き、米国では景気の安定した回復が続きました。

このような情勢のもとで当社グループは、2014 年 4 月から新たな 3 ヶ年の中期経営計画をスタートさせ、グローバル戦略商品の投入、アプリケーション開発と顧客サポート機能の強化、新興国市場での事業基盤の拡充、アフターマーケット事業の強化など、成長に向けた施策を積極的に進めています。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は 2,160 億 7 千 3 百万円(前年同期比 1.8%増)となり、営業利益は 147 億 7 千万円(同 14.9%増)、経常利益は 160 億 3 百万円(同 12.1%増)、四半期純利益は 104 億 9 千 2 百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、第 2 四半期、第 4 四半期に集中する傾向にあります。

セグメントの状況はつぎのとおりです。

#### I. 計測機器事業

日本では、大学などの政府補正予算関連の需要が減少したものの、全体の売上は微増となりました。輸送機・電機などの分野で試験機や非破壊検査装置が、化学分野で液体クロマトグラフが、それぞれ好調でした。また質量分析計も食品分野を中心に堅調でした。

海外では、北米及び欧州では、液体クロマトグラフや質量分析計を中心に好調に推移しました。北米では、エネルギー・環境などの民需に加えて大学・官公庁向け等で拡大しました。また、欧州では、製薬・ヘルスケア・食品安全分野で好調に推移しました。中国では、官公需の入札手続きが長期化している影響はあったものの、製薬分野で液体クロマトグラフが、また食品安全分野で質量分析計が堅調でした。インドでは、製薬分野で液体クロマトグラフの需要が大幅に回復しました。

この結果、当事業の売上高は、1,310 億 5 百万円(前年同期比 6.3%増)となりました。

#### II. 医用機器事業

日本では、消費税増税前の駆け込み需要の反動で全体の売上は減少しましたが、新開発の画像処理エンジンを搭載した血管撮影システムなどが好調でした。

海外では、北米でデジタル式回診用 X 線撮影装置の競合が激化し、また中国で入札手続きの長期化が影響し厳しく推移するなど、全体の売上は減少しました。このような中でも、中南米では血管撮影システムの売上が増加しました。

この結果、当事業の売上高は、408 億 1 千 8 百万円(前年同期比 4.2%減)となりました。

#### III. 航空機器事業

日本では、前年同期に大口案件があったため防衛省向け売上は減少しましたが、北米では、ボーイング社向けの旅客機用搭載機器が堅調で売上は増加しました。

この結果、当事業の売上高は、170 億 9 千 7 百万円(前年同期比 12.3%減)となりました。

#### IV. 産業機器事業

ターボ分子ポンプは、日本・北米・韓国における半導体市況の回復を背景に、半導体製造装置向けに好調に推移したものの、欧州・中国ではガラスコーター向けの売上が減少しました。ガラスワインダーは、前年の反動で中国の売上が減少しました。油圧機器は、産業車両(フォークリフト)・特装車両向けなどの分野で好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、226 億 7 千 6 百万円(前年同期比 2.0%増)となりました。

## V. その他の事業

当事業の売上高は、44 億 7 千 6 百万円(前年同期比 5.3%減)となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、日本では緩やかな景気回復が続くものと予想されます。海外においては、欧州経済や中国経済の先行きに不透明な部分もありますが、米国をはじめ全体として緩やかな景気回復が続くものと期待されます。

このような状況の中で、当社グループは、「真のグローバル企業へ」という長期ビジョンのもと、今年度より新たな 3 カ年中期経営計画をスタートさせました。本計画では、「世界の顧客の成長に資するイノベティブカンパニー」を目指すという基本方針を掲げて、引き続き企業価値を高める成長戦略、収益構造の改革に注力し、それを実現するためのグローバル組織・体制の強化を進めています。

連結業績予想につきましては、平成 26 年 5 月 13 日に公表しました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、従来、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について定率法(ただし、建物については定額法)を採用していましたが、第 1 四半期連結会計期間から定額法に変更しています。

この変更は、グループでの生産の内製化を中心とする生産改革の一環として「三条再配置計画」を進める中で、本社建物および工場の建替えとこれに伴う生産設備の取得を契機として、減価償却方法を将来の固定資産の使用実態に合わせたことによるものです。

この変更により、従来の方と比べて、当第 3 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ 745 百万円増加しています。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	46,028	41,486
受取手形及び売掛金	112,193	92,177
有価証券	20	-
商品及び製品	36,273	43,202
仕掛品	16,934	20,600
原材料及び貯蔵品	17,509	18,625
繰延税金資産	7,973	7,451
その他	5,624	6,990
貸倒引当金	△1,218	△1,124
流動資産合計	241,338	229,411
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,133	38,917
機械装置及び運搬具	4,470	4,994
土地	18,195	18,262
リース資産	2,365	2,367
建設仮勘定	4,817	1,234
その他	7,423	8,763
有形固定資産合計	69,405	74,541
無形固定資産	6,958	7,243
投資その他の資産		
投資有価証券	10,345	11,739
長期貸付金	171	178
繰延税金資産	9,462	8,362
その他	3,482	3,606
貸倒引当金	△449	△457
投資その他の資産合計	23,012	23,429
固定資産合計	99,376	105,213
資産合計	340,715	334,624

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,662	48,241
短期借入金	37,055	11,917
コマーシャル・ペーパー	16,000	7,000
リース債務	842	883
未払金	12,074	11,601
未払法人税等	1,715	1,167
賞与引当金	6,770	2,848
役員賞与引当金	265	211
その他	12,272	16,548
流動負債合計	138,659	100,420
固定負債		
社債	-	15,000
長期借入金	805	1,043
リース債務	1,688	1,678
役員退職慰労引当金	174	178
退職給付に係る負債	16,699	15,884
その他	693	751
固定負債合計	20,061	34,536
負債合計	158,720	134,956
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,648	26,648
資本剰余金	35,188	35,188
利益剰余金	119,367	126,918
自己株式	△755	△781
株主資本合計	180,449	187,974
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,994	4,296
為替換算調整勘定	85	8,664
退職給付に係る調整累計額	△1,714	△1,498
その他の包括利益累計額合計	1,365	11,462
少数株主持分	180	231
純資産合計	181,994	199,668
負債純資産合計	340,715	334,624

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	212,291	216,073
売上原価	130,515	128,506
売上総利益	81,776	87,566
販売費及び一般管理費	68,919	72,795
営業利益	12,856	14,770
営業外収益		
受取利息	128	135
受取配当金	175	188
受取保険金	125	164
為替差益	842	1,020
その他	1,192	895
営業外収益合計	2,464	2,404
営業外費用		
支払利息	270	159
その他	778	1,012
営業外費用合計	1,049	1,172
経常利益	14,272	16,003
特別利益		
固定資産売却益	22	31
投資有価証券売却益	-	9
特別利益合計	22	41
特別損失		
契約変更に伴う精算金	-	915
固定資産処分損	68	132
防衛装備品関連損失引当金繰入額	22,000	-
退職給付費用	343	-
減損損失	263	-
投資有価証券評価損	110	-
その他	208	-
特別損失合計	22,994	1,047
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,699	14,997
法人税、住民税及び事業税	3,549	3,425
過年度法人税等戻入額	△1,317	-
法人税等調整額	△5,769	1,025
法人税等合計	△3,537	4,451
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△5,162	10,546
少数株主利益	37	54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,200	10,492

四半期連結包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△5,162	10,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,182	1,301
為替換算調整勘定	6,936	8,549
退職給付に係る調整額	165	215
その他の包括利益合計	9,284	10,066
四半期包括利益	4,122	20,613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,075	20,550
少数株主に係る四半期包括利益	46	62

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 1) セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および営業利益又は営業損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	123,211	42,621	19,490	22,240	207,563	4,727	212,291	—	212,291
セグメント間の 内部売上高	31	6	49	44	132	939	1,071	△1,071	—
計	123,243	42,627	19,540	22,285	207,696	5,667	213,363	△1,071	212,291
セグメント利益 又は損失(△)	11,957	1,005	△808	1,720	13,875	1,209	15,085	△2,228	12,856

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	計測機器	医用機器	航空機器	産業機器	計				
売上高									
外部顧客への売上高	131,005	40,818	17,097	22,676	211,597	4,476	216,073	—	216,073
セグメント間の 内部売上高	26	26	47	60	161	960	1,122	△1,122	—
計	131,032	40,845	17,144	22,736	211,759	5,436	217,195	△1,122	216,073
セグメント利益 又は損失(△)	15,578	226	△1,640	1,362	15,525	918	16,444	△1,673	14,770

## 2) 関連情報

地域ごとの売上高の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
106,045	27,112	17,707	37,220	16,301	7,905	212,291

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

日本	米州	欧州	中国	その他のアジア	その他	合計
103,488	30,067	19,100	37,043	18,261	8,112	216,073

(注) 本邦以外の区分に属する主な国または地域

米州 : アメリカ

欧州 : イギリス、ドイツ

中国 : 中国

その他のアジア : インド、東南アジア、韓国、台湾

その他 : オーストラリア、中近東、アフリカ